

「いつまでも住み続けたいと思う街」を目指して

平成22年度予算 総額で約456億円を計上

一般会計で12・7%の増加

本市の平成22年度当初予算は、総額で456億1,295万円、内訳は、一般会計209億円、特別会計140億8,421万円、企業会計106億2,874万円です。前年度当初予算と比較すると、一般会計で12・7%の増、特別会計で1・1%の減、企業会計で0・6%の増、総計で5・2%の増となっています。

歳入では、市民税について、景気後退による法人市民税の減少や所得の低下による個人市民税の減少により、前年度比12・0%減の約27億7千万円、固定資産税について、工業団地開発に伴う地籍の増、新築家屋の増を勘案し、前年度比1・6%増の約30億7千万円を計上しました。地方交付税については、地方の自主財源の充実・強化のため総額が増額されたことなどを考慮し、前年度比7・0%増の42億8千万円としました。

歳出では、財源の効率的な配分に心掛け、基幹道路の整備、防災対策事業などを新たに盛り込むとともに、市の顔としての基盤づくり、学校施設の整備・充実などを計上するなど、必要不可欠な事業に重点的な予算配分を行いました。主な事業については、4・5頁で紹介しています。

平成22年度当初予算(歳出)の会計別内訳と前年度との比較

会 計 名		平成22年度当初	平成21年度当初	前年度比
一 般 会 計	民 生 費	63億 2,447万円	54億 4,967万円	16.1%
	教 育 費	40億 1,963万円	21億 4,147万円	87.7%
	土 木 費	30億 2,742万円	27億 5,538万円	9.9%
	衛 生 費	22億 8,321万円	23億 1,435万円	△1.3%
	公 債 費	17億 7,898万円	20億 6,210万円	△13.7%
	総 務 費	17億 0,698万円	17億 4,624万円	△2.2%
	商 工 費	6億 9,267万円	6億 8,365万円	1.3%
	消 防 費	6億 1,005万円	9億 1,134万円	△33.1%
	そ の 他	4億 5,659万円	4億 8,780万円	△6.4%
計		209億 0,000万円	185億 5,200万円	12.7%
特 別 会 計	曾木地区市有林管理	0万円	54万円	皆減
	下水道事業	23億 2,173万円	33億 3,119万円	△30.3%
	交通災害共済	1,451万円	1,568万円	△7.5%
	国民健康保険	66億 5,409万円	59億 7,245万円	11.4%
	自動車駐車場事業	6,964万円	6,952万円	0.2%
	老人保健	288万円	1,200万円	△76.0%
	介護保険(保険勘定)	38億 6,890万円	37億 4,102万円	3.4%
	介護保険(サービス勘定)	2,229万円	1,788万円	24.7%
	農業集落排水事業	2,605万円	2,142万円	21.6%
	土岐市・瑞浪市介護認定審査会	4,099万円	4,602万円	△10.9%
	土岐市・瑞浪市障害者自立支援認定審査会	528万円	593万円	△10.9%
	後期高齢者医療保険	10億 5,785万円	10億 1,340万円	4.4%
計		140億 8,421万円	142億 4,705万円	△1.1%
企 業 会 計	病 院 事 業	83億 0,652万円	81億 2,736万円	2.2%
	水 道 事 業	23億 2,222万円	24億 4,310万円	△4.9%
	計	106億 2,874万円	105億 7,046万円	0.6%
合 計		456億 1,295万円	433億 6,951万円	5.2%

※端数処理の関係上、一部数字が合わない場合もあります。

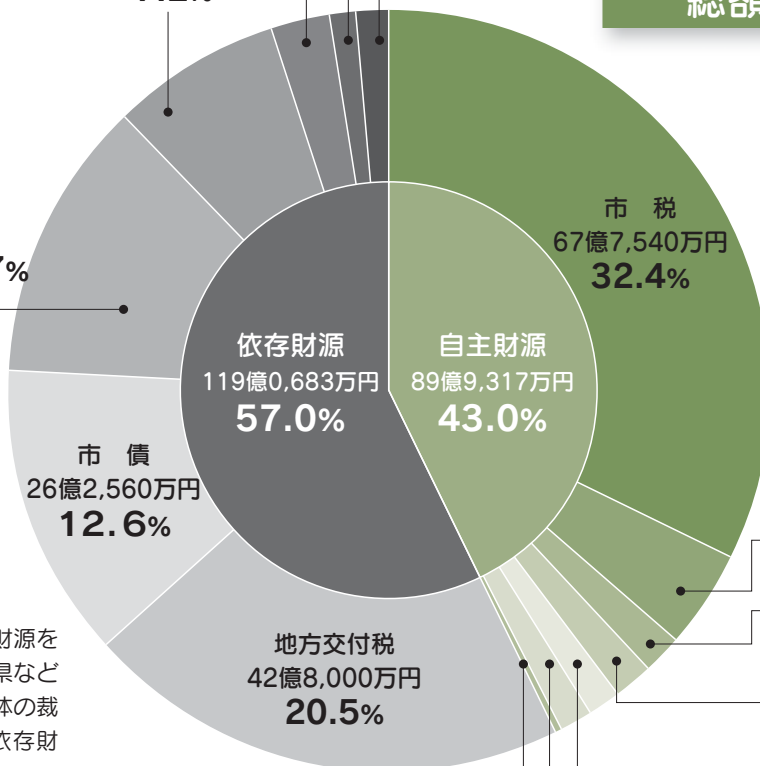


その他 2億7,973万円 1.3%
 地方譲与税 2億0,800万円 1.0%
 地方消費税交付金 5億6,600万円 2.7%
 県支出金 15億0,367万円 7.2%

国庫支出金
 24億4,383万円 11.7%

平成22年度一般会計予算 歳入の内訳

総額 **209億円**



自主財源 と 依存財源

自らの権限で収入し得る財源を「自主財源」といい、国や県などを経由する財源で、自治体の裁量が制限される財源を「依存財源」といいます。

繰入金 8億7,743万円 4.2%
 諸収入 3億5,222万円 1.7%
 使用料および手数料 3億1,446万円 1.5%
 繰越金 3億円 1.4%
 分担金および負担金 2億7,690万円 1.3%
 その他 9,676万円 0.5%

市民一人当たりで計算すると・・・
 (2月末日現在人口 62,736人で計算)

市税負担額

固定資産税
48,942円

市民税(個人分)
37,830円

都市計画税
7,790円

たばこ税
4,808円

軽自動車税
1,852円

入湯税
217円

その他 **6,559円**

合 計 107,998円

使われる一般会計予算

民生費
100,811円

教育費
64,072円

土木費
48,257円

衛生費
36,394円

公債
 公債費 **28,356円**

総務費
27,209円

その他 **28,043円**

合 計 333,142円

※端数処理の関係上、一部数字が合わない場合もあります。

今年度は こんな街づくりをします

～主な事業～

基幹道路の整備

五斗蒔PA

スマートIC建設事業

企業誘致の促進と観光振興のため、東海環状自動車道五斗蒔パーキングエリアのスマートインターチェンジ化を、平成24年度の利用開始を目標に実施します。



▲五斗蒔パーキングエリア(内回り)

土岐市の顔としての 基盤づくり

新土岐津線整備事業

中心市街地整備事業として、昨年度に引き続き、新土岐津線整備事業用地の評価・補償調査業務、用地取得などを実施します。

学校教育・社会教育の 充実

学校給食センターの建設

市内の全幼稚園・小中学校の児童・生徒に給食を作っている学校給食センターを、平成23年1月のオープンを目指し、新たに建設します。



▲新学校給食センター完成予想図

生涯学習の充実

生涯学習施設の整備・充実を図るため、泉公民館改修工事の設計を実施します。また、泉西公民館入口の補修工事とともに、市文化プラザの屋根防水工事を実施します。

学校施設の耐震化

妻木・泉・泉西の各小学校の体育館耐震補強工事と、肥田小学校舎棟の耐震補強工事、妻木小校舎棟・西陵中管理棟耐震補強工事の基本・実施設計を行います。

図書館の耐震補強工事

図書館活動の充実を図るため、耐震補強やアスベスト撤去とともに館内の改修工事を行います。

スポーツ施設の整備・充実

平成24年10月に開催される「ぎふ清流国体」と、その前年に実施されるプレ国体の準備として、会場となる市総合公園のテニスコートとウツデイドームの屋根を改修します。

人権教育の充実

土岐市人権施策推進指針を策定します。

防災対策の強化

消防団車両の配備

消防団活動に必要な資機材の充実を図るため、電源照明装置付き小型ポンプ積載車を駄知分団に配備します。

橋の整備

老朽化した栄橋（下石町）の架け替えと、陶栄橋（土岐津町）の耐震補強工事を実施します。



子育て支援対策

発達支援相談員の配置

保育園・幼稚園で発達障がい児を支援していくため、保育士・幼稚園教諭などの活動をバックアップする発達支援相談員を、ひだ保育園に配置します。

幼児教育の充実

3歳からの幼稚園就園事業を、新たに泉小学校附属幼稚園で実施します。

子ども手当

子ども手当を支給します。

地域医療体制の充実

市立病院の充実

救急医療の充実を図るため、市立総合病院の救急外来棟増築工事の設計を行います。



公共交通の充実

市内公共交通の充実

市民バスと公共交通機関の連携を向上させるなど、よりよい交通体系を目指して、公共交通の再編・運行を実施します。

産業・観光の充実

陶磁器産業の振興

新製品・新用途に対する研究開発支援のため、昨年度購入した3D造型機を活用し、試作品作成時の技術援助を開始します。また、美濃焼展示PR事業として「東京ドームテ-



▲3D造型機

ブルウェアフェスティバル」など、各種展示会への出展を通して、美濃焼を全国にPRします。

農林業の振興

森林の整備および有効活用を図るため、民有林の間伐などの整備事業に対して補助をすることで、山林の荒廃を防ぎ、健全育成を促進します。

地域福祉の充実

地域福祉推進体制の整備

老人デイサービス送迎用介護車の更新や、西部老人福祉センターのカラオケ機器を更新します。

防犯の強化

消費生活トラブルの防止

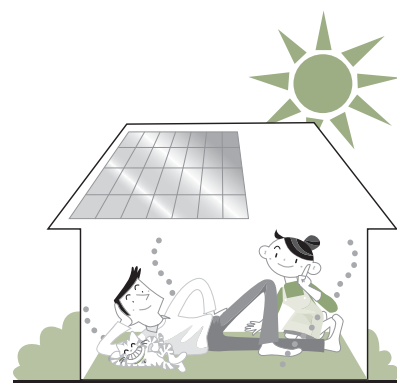
消費生活相談員を配置します。

環境保全の推進

地球温暖化防止の推進

地球温暖化防止に向けた取り組みとして、太陽光発電システムを設置

した家屋に対し補助金を支給します。



▲太陽光発電システム設置家屋のイメージ

適正な土地利用の推進

土地の適正利用

都市計画マスタープランの地域別構想を見直します。

総合計画の見直し

第5次総合計画の見直し

計画期間の5年目を迎える、第5次総合計画の見直しを行います。

詳しくは、総務課(内線2226)へどうぞ。